2021 年 5 月 14 日

各　　位

会社名：株式会社じもとホールディングス
（コード番号：7161　東証第一部）
代表者名：取締役社長　栗野　学
問合せ先：取締役総合企画部長　尾形　毅
（ＴＥＬ．０２２－７２２－００１１）

新中期経営計画の策定について

当社および当社子銀行（株式会社きらやか銀行、株式会社仙台銀行）は、このたび、新たなグループ経営指針となる新中期経営計画（計画期間：2021 年度～2023 年度）を策定しましたのでお知らせいたします。

記

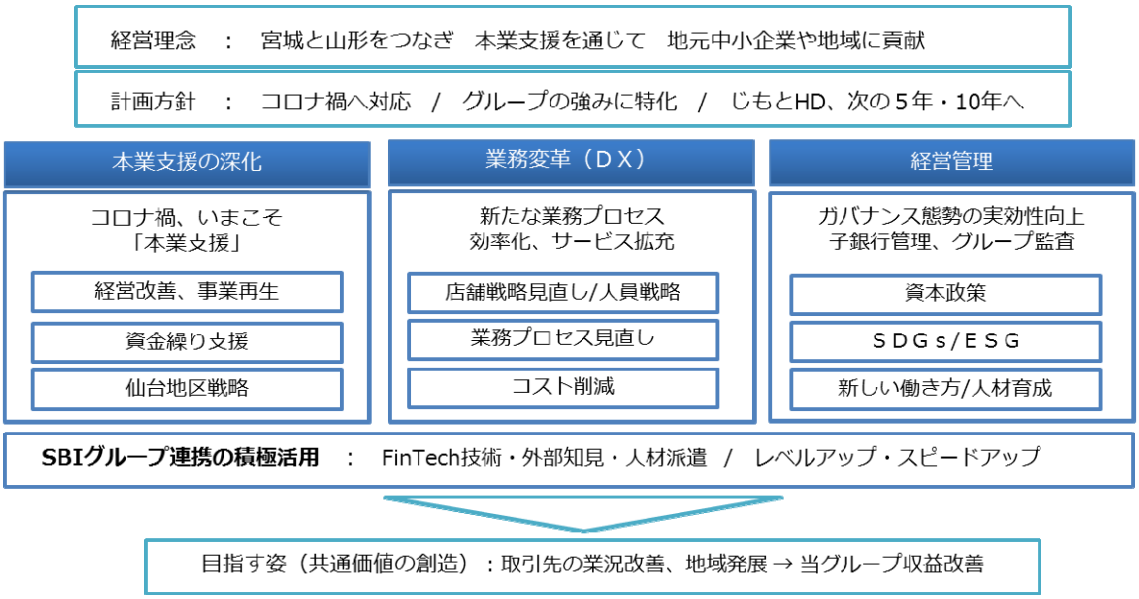
１．じもとホールディングスの計画概要

１－１　グループ計画方針と目指す姿

じもとグループは、本年で設立 10 年を迎えます。新中期経営計画では、経営理念である「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」のもと、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の 5 年・10 年後も見据えて、「本業支援の深化」「業務改革ＤＸ」「経営管理」を計画の 3 本柱として掲げました。

当グループは、本計画を通じて、これまで以上にお取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当グループの収益改善にもつなげ、「共通価値の創造」を実現すべく役職員が全力で取り組んでまいります。

１－２　グループ計画の骨子



※　グループ計画の推進にあたっては、資本業務提携先の SBI グループから、同社の先進的な FinTech 技術や外部知見を幅広く導入。人材派遣も通じてレベルアップを図り、計画実現のスピード力を高めます。

※　子銀行は、グループ計画方針に基づき、市場環境も踏まえ、各行計画を策定しました。

２．きらやか銀行の計画概要

２－１　計画方針と目指す姿

「本業支援業の確立」を通じて経営理念を実現し、地域と共に活きることを目指します。

経営理念	：	本業支援を通して地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に活きること

２－２　計画の骨子　－　**コロナ時代を勝ち抜くための「ファイブポリシー」**－

（１）本業支援

お客さまの稼ぐ力の強化に向けて、「お客さまの事業の理解・可視化」、「本業支援プラットフォームの充実」、「きらやかコンサルティング＆パートナーズ（ＫＣＰ）の拡充・活用」、「本業支援体系の再構築」、「人材育成」「収益基盤の確立」に組織的・継続的に取り組んでまいります。

（２）アライアンス

じもとグループ連携の強化、ＳＢＩグループのスキルやノウハウの活用、産学官をはじめとする外部機関との本業支援や効率化に係る連携に取り組んでまいります。

（３）ＤＸ

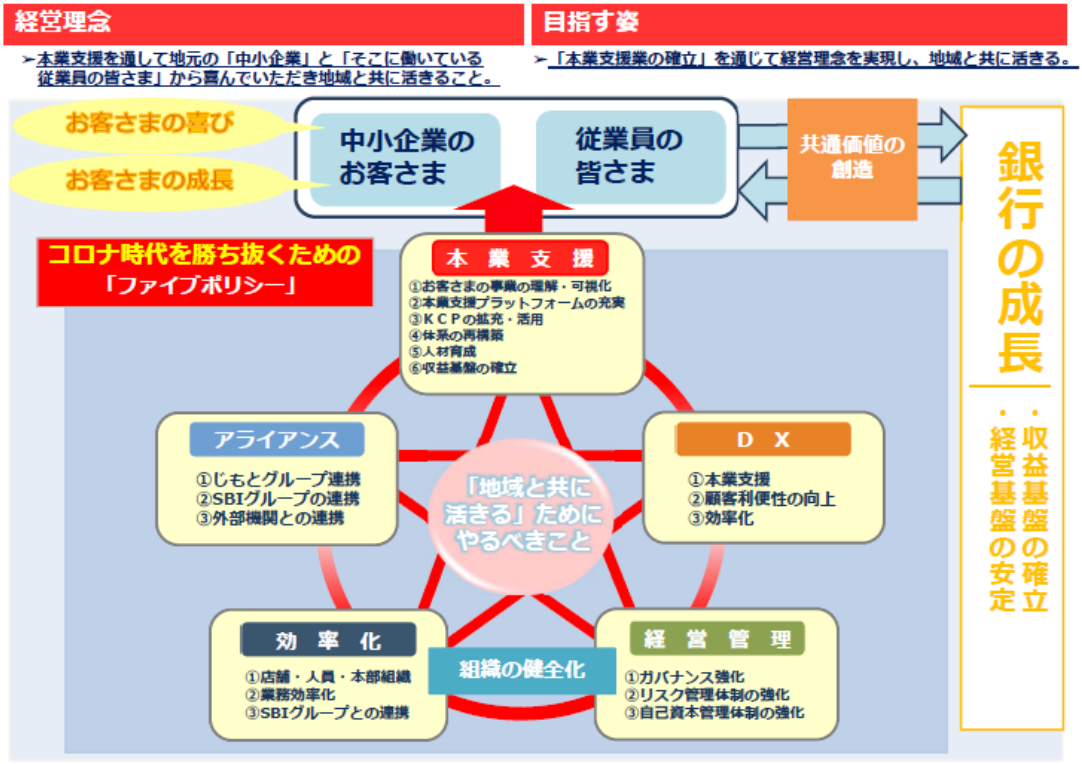
ＳＢＩグループとの連携を中心に、本業支援や顧客利便性向上、行内業務効率化やコロナ禍に合致した取り組みにおいて、ＤＸを積極的に取り入れてまいります。

（４）効率化

店舗の効率化、非対面取引拡大、人員適正化を一体で進め、効率化と経営資源の集中化を図り、創出した人員を法人渉外に再配置し、本業支援力を高めてまいります。

（５）経営管理

ガバナンス、リスク管理、自己資本管理など経営管理体制を強化してまいります。



３．仙台銀行の計画概要

３－１　計画方針と目指す姿

経営理念の「宮城県の中小企業の支援・育成」のもと、“人で勝負する銀行”を発展させ、本業支援を通じて地元の復興と地域活性化に貢献することを目指します。

３－２　計画の骨子　　－　人で勝負する銀行の深化　～Speed & Challenge～　－

（１）「Speed」　環境・顧客ニーズへの速やかな対応

急速な環境変化に対応するため、経営の意思決定の迅速化、早期の計画目標達成に取り組みます。また、渉外人員の増加とスピード回答を通じて、顧客ニーズへ速やかに対応してまいります。

（２）「Challenge」　環境・顧客ニーズに応じた進化への挑戦（トライアングル戦略の深化）

【コア戦略の推進・中小企業向け貸出増強】

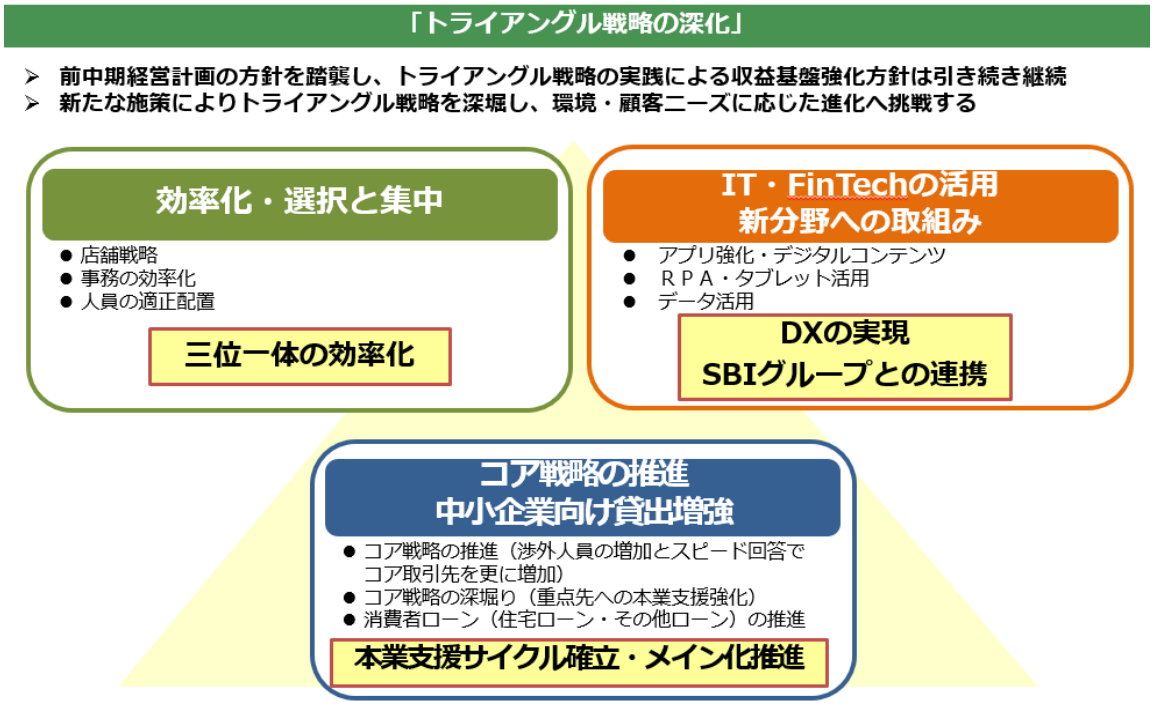
本業支援サイクルの確立・メイン化推進を柱とし、取引先のメイン化と取引多様化を推進します。併せて、取引先の経営課題に応じた本業支援を展開することで経営改善に貢献し、共通価値を創造してまいります。

【IT・FinTech の活用、新分野への取り組み】

ＤＸの実現に向けて、業務効率化、データ活用、顧客利便性向上に取り組みます。併せて、ＳＢＩグループと連携し、同社ノウハウを活用することで、新たな金融サービス提供に取り組んでまいります。

【効率化・選択と集中】

店舗戦略、事務の効率化、人員の適正配置を三位一体で実施し、一層の経営効率化に取り組んでまいります。



４．収益計画及び経営指標

４－１　じもとホールディングス（グループ全体）

	2021/3 期 始期	2022/3 期 計画	2023/3 期 計画	2024/3 期	
				計画	始期比
コア業務純益　※1	46 億円	55 億円	62 億円	71 億円	＋25 億円
経常利益	▲22 億円	37 億円	48 億円	59 億円	＋81 億円
当期純利益	▲31 億円	31 億円	37 億円	45 億円	＋76 億円
貸出金平残	1 兆 8,214 億円	1 兆 8,470 億円	1 兆 8,702 億円	1 兆 8,936 億円	＋722 億円
預金平残	2 兆 4,738 億円	2 兆 5,039 億円	2 兆 5,052 億円	2 兆 5,151 億円	＋413 億円
自己資本比率	8.1%	8.0%程度	8.1%程度	8.2%程度	＋0.1%
コアＯＨＲ　※2	83.5%	80.7%	78.7%	75.8%	▲7.7%
ＲＯＥ	▲2.7%	2.5%	3.0%	3.3%	＋6.0%
顧客向けｻｰﾋﾞｽ業務利益 ※3	15 億円	14 億円	19 億円	28 億円	＋13 億円

４－２　きらやか銀行

	2021/3 期 始期	2022/3 期 計画	2023/3 期 計画	2024/3 期	
				計画	始期比
コア業務純益　※1	20 億円	31 億円	32 億円	38 億円	＋18 億円
経常利益	▲43 億円	15 億円	20 億円	26 億円	＋69 億円
当期純利益	▲48 億円	15 億円	17 億円	22 億円	＋70 億円
貸出金平残	1 兆 302 億円	1 兆 135 億円	1 兆 81 億円	1 兆 31 億円	▲271 億円
預金平残	1 兆 2,904 億円	1 兆 2,954 億円	1 兆 2,854 億円	1 兆 2,754 億円	▲150 億円
自己資本比率	8.0%	8.1%程度	8.3%程度	8.4%程度	＋0.4%
コアＯＨＲ　※2	86.3%	79.9%	79.0%	75.1%	▲11.2%
ＲＯＥ	▲7.4%	2.4%	2.6%	3.2%	＋10.6%
顧客向けｻｰﾋﾞｽ業務利益 ※3	5 億円	8 億円	8 億円	14 億円	＋9 億円

４－３　仙台銀行

	2021/3 期 始期	2022/3 期 計画	2023/3 期 計画	2024/3 期	
				計画	始期比
コア業務純益　※1	30 億円	28 億円	33 億円	36 億円	＋6 億円
経常利益	19 億円	20 億円	27 億円	31 億円	＋12 億円
当期純利益	17 億円	15 億円	20 億円	23 億円	＋6 億円
貸出金平残	7,911 億円	8,334 億円	8,620 億円	8,905 億円	＋994 億円
預金平残	1 兆 1,833 億円	1 兆 2,084 億円	1 兆 2,197 億円	1 兆 2,396 億円	＋563 億円
自己資本比率	8.3%	8.0%程度	8.0%程度	8.0%程度	▲0.3%
コアＯＨＲ　※2	77.0%	78.5%	75.3%	73.6%	▲3.4%
ＲＯＥ	3.4%	2.8%	3.6%	3.9%	＋0.5%
顧客向けｻｰﾋﾞｽ業務利益 ※3	9 億円	5 億円	10 億円	14 億円	＋5 億円

※1、※2　投信解約益等（投信解約益＋債権売却益）を除く

※3　顧客向けｻｰﾋﾞｽ業務利益＝貸出金残高×預貸金利回差+役務取引等利益－営業経費

本資料に記載されている収益計画及び経営指標は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。